

時間割番号／Registration No.	G2189		
授業科目名／Course Title	保育内容の指導法（造形表現）★（幼児の造形表現）		
授業科目名英語／Course Title			
担当教員名／Instructor	竹内 晋平，川口 奈々子		
単位数／Credits	2		
授業の方法／Type of class	講義		
更新日／Date of renewal	2019/09/01		
目的／Course Objectives	<p>幼児期の子どもたちは周囲の環境や素材（形や色）に全身の感覚で働きかけることによって、様々なことを認識し造形への興味を広げ豊かな感性が育つといえる。そこで保育者は、どのような援助をしていくのか、環境設定をしていくのかが、幼児の造形表現を豊かに育む上で重要なポイントである。この授業では、幼児期の造形活動は成長過程において重要な経験であることを、子どもの絵や保育事例を見ながら学んでいくと同時に、保育者として必要な造形面の理論・技法・指導法について実技を通して学習する。</p>		
到達目標／Course Goals	<p>幼児の造形活動を指導・支援するための基礎的知識・技能を身につけ、指導力の素地を形成する。</p>		
Cuffet 項目／Cuffet	(学校教育教員養成課程)	42	授業等の実践－実施
授業計画（内容と方法） ／Class schedule	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション・クラス分け 【306教室に集合】</li> <li>2. 幼児の造形表現（発達からみた特性） 【306教室に集合】</li> <li>3. 幼児の造形と環境（レッジョ・エミリア市の事例から） 【306教室に集合】</li> <li>4. 子どもの主体性を引き出す環境と素材①</li> <li>5. 子どもの主体性を引き出す環境と素材②</li> <li>6. 子どもの主体性を引き出す環境と素材③</li> <li>7. 子どもの主体性を引き出す環境と素材④</li> <li>8. 幼児の発達と描画表現（実際の幼児の作品研究）</li> <li>9. 表現を広げるための手だて（コミュニケーションを引き出す人形づくり）</li> <li>10. 紙素材と造形表現1（子どもと作るアイデアカード作り）</li> <li>11. 紙素材と造形表現2（子どもに送るアイデアカード作り）</li> <li>12. 紙素材と造形表現3（保育に生かすアイデアカード作り）</li> <li>13. ポップアップカード制作①</li> <li>14. ポップアップカード制作②</li> <li>15. まとめ －乳幼児の発達と保育カリキュラム－</li> <li>16. 筆記試験 【306教室に集合】</li> </ol>		
テキスト、参考図書、教材等 ／Textbooks	<テキスト> 文部科学省『幼稚園教育要領解説』，フレーベル館，2018年		
評価方法 Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品課題および授業への取り組み状況（50%）</li> <li>・授業中の小レポート類（25%）</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験（25%）</li> </ul> <p>単位を認定するために必要となる条件は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初回授業に出席していること（教育実習等が理由の場合はこの限りではない）。初回は、授業 15 回全体の指針や心得にかかわる重要な内容があるためである。やむを得ない事情がある場合には、その事情について授業担当者まで連絡すること。</li> <li>・欠席が 5 回以内であること（遅刻は、欠席 0.5 回と数える。30 分以上の遅刻は欠席。病気、けが、公式戦、演奏会なども欠席に含む。いわゆる「遅延証明書」等は受け付けない）。</li> <li>・欠席時には、事後に授業担当者から配布プリントや材料を受け取り、自宅で自学自習をすること。課題があれば、翌回に提出する。休んだままで次週を迎えないようにすること。</li> <li>・提出物の内容が一定水準以上であり、期限が守られていること。</li> <li>・グループ活動は、仲間と協力して取り組んでいること。</li> </ul> <p>※ 忘れ物があった場合は減点の対象とする。</p>
<p>準備学習等 ／Preparation Learning</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次週までの課題について指示があった場合は、自宅での学習を行い持参すること。（これも評価の対象となる）</li> </ul>
<p>受講上の注意、メッセージ等 ／ Caution, Message</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみ（使いやすいもの）、のり（木工用接着剤も可。スティックのり不可）を毎回持参すること。</li> <li>・初回授業でクラス分けを行う（初回は 3 0 6 教室に集合。クラス分け確定後に登録確認・訂正を行う必要がある。初回授業で具体的に指示する）。</li> </ul> <p>連絡先：美術科教育・竹内研究室、E-mail: shimpei@nara-edu.ac.jp</p>